

第 1 回検討会における指摘事項と対応一覧

【第 1 回検討委員会における指摘事項と対応一覧】

項目	指摘事項	対応
再生可能エネルギー導入ポテンシャル	小規模な空地等を活用した場合や耕作放棄地を活用した場合の太陽光発電の賦存量についても推計する必要があるのではないか。	耕作放棄地及び駐車場・空き地等の低・未利用地を活用した場合の太陽光発電の賦存量について推計した。
資料 2-2	既に除却された建物もあることから、この部分は太陽光の賦存量から差し引くべきではないか。	福島県の戸建住宅の平均建築面積に除却された建物棟数を乗じ、それを設置可能面積から差し引くことによって対応した。
	木質バイオマスの賦存量等についても推計が必要ではないか。また賦存量があっても利用できない場合には、その旨を明記する必要があるのではないか。	木質バイオマス、バイオガス（畜産バイオマス）についても賦存量を推計した。また、木質バイオマスについては短期的に導入が見込めない理由について記載した。
町内のエネルギー需要	工業団地については、供用開始時に全ての区画で工場が稼働するとの想定は難しいのではないか。	計画の目標年の想定需要まで、供用開始後から目標年までの間で需要量は線形に増加するとしてグラフを再作成した。
資料 2-3		
開発適地選定	開発適地として抽出されているエリアに、ほ場整備等の区域が入っているため、ほ場整備等の区域を除外する等の調整が必要ではないか。	ほ場整備、土地改良総合事業、農地開発事業の区域及び復興整備計画に記載されている事業の区域等を除外して開発適地を再度選定した。
資料 2-4		
資料 2-5	開発適地として抽出されたエリアの面積はどの程度か。また、その区域の土地利用の状況はどのようになっているのか。	国土数値情報「土地利用細分メッシュデータ」を用いて、区域面積及び土地利用種ごとの面積を推計した。
モデル事業	送電網の空き容量について確認が必要ではないか。	開発適地の抽出結果を踏まえ、系統連携の協議を東北電力と行い、確認を進めていく。
その他	変電所の増強、送電網の拡充などを国・県を通じて東北電力に働きかける等の推進策が必要ではないか。	具体施策の中に、働きかけの根拠となるような表現を記載することを想定している。